



環境かわら版

2024年12月号(343号)



「第11回三河湾大感謝祭」を開催しました
(P6)



「アクション油ヶ淵2024」を開催しました
(P7)



「Let's エコアクション in AICHI」を開催し
ました(P7)



モリゾウ キョウロ
あいちSDGsアンバサダー ©GISPRI

愛知県は「SDGs 未来都市」として、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けた取組を推進しています。県の環境に対する取組は、環境局 Web ページ「あいちの環境」で紹介しています。



「あいちの環境」(<https://www.pref.aichi.jp/site/kankyo/>)



あいちエコアクション・ポイント

冬季取組強化キャンペーンを実施します



愛知県では、県民の皆さんの脱炭素・循環型ライフスタイルへの転換を促すため、グリーン購入やプラスチック製カトラリー類の辞退などの環境配慮行動（エコアクション）に対して、ポイントを発行する「あいちエコアクション・ポイント」を実施しています。

このポイントは、県民の皆さんが、県内約4,700の参加店舗等において、対象のエコアクションを実践し、設置されている二次元コードをスマートフォンで読み取ることで獲得できます。300ポイント集めていただくごとに、賞品が当たる抽選に1回応募できます。

この取組をより広く普及させるため、12月16日（月）から1月15日（水）までを冬季取組強化キャンペーン期間とし、通常賞品のQUO（クオ）カードに加え、協賛事業者から提供いただいた期間限定の賞品を用意します。

是非エコアクションを実践し、ポイントを集めてご応募ください。

1 ポイント付与の対象となるエコアクションと獲得ポイント数

エコアクション	ポイント数
①グリーン購入（家電、衣類、食品、家庭用品、文房具）	省エネ家電 50P その他 10P
②プラスチック製カトラリー類の辞退	10P
③使用済みクリーニングハンガーの返却	10P
④飲食店での食べ残しゼロ	10P
⑤フードバンク等への寄付	10P

2 参加・応募方法

- ①Webサイトにアクセスし、アカウントを作成
- ②参加店舗等で、対象となるエコアクションを実践してポイントを獲得
- ③300ポイント集めたら、Webサイトのマイページから希望賞品を選択して応募

3 参加費

無料（ただし、通信費は自己負担）

4 キャンペーン期間限定の賞品

区分	賞品名 ()内は協賛事業者	当選者数
商品券 ・ チケット	・公式戦メンバーズS席ペア券 (ドラチケクーポン) ((株)中日ドラゴンズ)	2名
	・スギ薬局商品券 【3,000円分(500円×6枚)】 (スギホールディングス(株))	10名
	・花とみどりのギフト券 【3,000円分(1,000円×3枚)】 ((一社)JFTD花キューピット)	5名
	・ルブラ王山 ギフトクーポン券 【2,000円分(1,000円×2枚)】 (ホテルルブラ王山)	10名
	・サンヒルズ三河湾 宿泊利用割引券 【2,000円分(2,000円×1枚)】 (サンヒルズ三河湾)	2名
	・楽の湯グループ共通 ペア入泉ご招待券 (天然温泉みどり楽の湯)	5名
商品	・名古屋グランパスの選手の 直筆サイン入り色紙 ((株)名古屋グランパスエイト)	5名
	・NANOX one PRO ギフト (ライオン(株))	10名
	・いちご大福、さくらさくらの赤飯まんじゅう 【各5個の10個1箱】 ((有)野田屋菓子舗)	10名
	・「ブレンディ®」マイボトルスティック ピーチルイボスティック6本入 6箱 (味の素AGF(株))	8名
	・みなみちたフルーツソープ (15グラム)5個入り ((株)みなみちたフルーツ)	5名

詳細はWebページをご覧ください。
(<https://www.eap.pref.aichi.jp>)



環境活動推進課 調整・環境配慮行動グループ
電話 052-954-6241 (ダイヤルイン)

「あいち地球温暖化対策フォーラム」を開催します



愛知県では、カーボンニュートラルの実現に向けた県民及び事業者の意識の向上や行動の変革を促すため、具体的な方策について考える場となる「あいち地球温暖化対策フォーラム」を開催します。

地球温暖化対策を加速するためには、県民、事業者などあらゆる主体の皆さんと連携・協力して取り組む必要があります。本フォーラムはそれぞれの立場で考える良いきっかけとなりますので、是非ご参加ください。

1 日時

12月20日（金） 13:30～16:30

2 開催場所

会場：愛知芸術文化センター 12階

アートスペースA（名古屋市東区）

オンライン参加も可能です。（Zoom 利用予定）

3 内容

(1) 主催者挨拶（知事予定）

(2) 認定証授与式

自動車エコ事業所認定証授与

あいちカーボンニュートラルチャレンジ認定証授与

(3) 講演等

○ 基調講演

「『脱炭素経済』に向けた企業の挑戦—本格的なカーボンプライシングの時代にどう対応するか—」

〔講師〕 京都大学大学院経済学研究科

教授 諸富 徹 氏

【プロフィール】

京都大学大学院経済学研究科博士課程修了。横浜国立大学経済学部助教授、京都大学大学院経済学研究科助教授、京都大学公共政策大学院助教授などを経て2010年3月から現職。



これまでに、「国内排出量取引制度検討会（環境省）」委員、「カーボンプライシングの活用に関する小委員会（環境省中央審議会）」委員を始め、国及び地方自治体等において、多くの委員を務める。

主著に「環境税の理論と実際（有斐閣）」、「税という社会の仕組み（筑摩書房）」、共著に「再生可能エネルギーと地域再生（日本評論社）」などがある。

○ 事例発表①

「『e-dash』とCO₂排出量の可視化から始める脱炭素」

〔講師〕 e-dash(株)

代表取締役社長 山崎 冬馬 氏

○ 事例発表②

「CO₂測定 ⇒ 見える化 ⇒ 削減対策」

〔講師〕 加藤軽金属工業(株)

取締役社長 加藤 大輝 氏

○ トークセッション

「カーボンニュートラルの実現に向けた社会変革」

登壇者：基調講演・事例発表講師 3名

MC：気象予報士/フリーアナウンサー

早川 敦子 氏

4 定員

【会場】150名【オンライン】500名

ともに申込先着順

5 参加費

無料（オンライン参加の通信費は参加者負担）

6 申込方法

下記Webページにある申込フォームからお申込みいただくか、参加申込書をダウンロードの上、メール又はFAXにより、12月13日（金）までにお申込みください。

Web ページ：[https://www.pref.aichi.jp/](https://www.pref.aichi.jp/press-release/forum2024.html)

[press-release/forum2024.html](https://www.pref.aichi.jp/press-release/forum2024.html)

メール：ondanka@pref.aichi.lg.jp

FAX:052-955-2029



あいち地球温暖化対策フォーラム

検索

7 その他

本フォーラムの開催に伴い排出されるCO₂は、県と(株)名古屋銀行が2023年9月28日に締結した覚書に基づいてオフセット（埋め合わせ）されます。

地球温暖化対策課 調整・企画グループ

電話 052-954-6213（ダイヤルイン）

第五次レッドリスト(案)に対する県民意見を

募集しています



愛知県では、生物多様性の保全を推進するため、現在、レッドリスト(絶滅のおそれのある野生動植物の種のリスト)の見直し作業を進めており、このたび第五次レッドリスト(案)を取りまとめました。今回の見直しによる新規掲載種は79種、除外種は3種で、掲載種数は1,559種となりました。

この第五次レッドリスト(案)の内容に関する意見(種、ランクなどについて)を県民の皆様から募集しています。

1 意見募集期間

12月14日(土)まで



2 資料の閲覧方法

県のWebページ(<https://www.pref.aichi.jp/press-release/redlist5th-pub.html>)に資料及び意見提出様式を掲載しています。また、本資料は環境局環境政策部自然環境課、環境調査センター企画

情報部、県民相談・情報センター等において閲覧できます。

3 意見の提出方法

所定の様式に、お住いの市町村名、年代、意見をご記入の上、郵便、FAX 又はメールのいずれかの方法でご提出ください。



生育が再確認されたヒナラン
絶滅(EX) → 絶滅危惧IA類(CR)

自然環境課 野生生物・鳥獣グループ
電話 052-954-6230 (ダイヤルイン)

事業者向け「化学物質適正管理セミナー」を

オンライン(録画配信)で開催しています



事業者による化学物質の適正な管理を一層促進するため、愛知県は名古屋市とともに、化学物質を取り扱う事業者を対象とした「化学物質適正管理セミナー」をオンライン(録画配信)で開催しています。是非ご視聴ください。

1 公開期限

2025年2月10日(月) 17:00まで

2 内容

(1) 災害等に備えた化学物質管理とリスクコミュニケーション

環境省事業

化学物質アドバイザー 寺沢 弘子 氏

(2) 新たな化学物質管理について

厚生労働省愛知労働局労働基準部健康課

労働基準監督官 伊勢谷 涼太 氏

(3) PRTR 届出及び条例に基づく届出(取扱量等)の留意点について

県環境局環境政策部環境活動推進課

(4) 愛知県内における水質事故の概要及び未然防止について

県環境局環境政策部水大気環境課

3 参加費 無料(通信費は自己負担)

4 申込期限 2025年2月10日(月) 正午まで

5 申込方法 あいち電子申請届出システム

(https://www.shinsei.e-aichi.jp/pref-aichi-u/offer/offerList_detail?tempSeq=107232)



申込完了時にメールで視聴方法をご案内します。

環境活動推進課 環境影響・リスク対策グループ
電話 052-954-6212 (ダイヤルイン)

地球温暖化防止活動推進員を募集します



愛知県では、ボランティアとして地域で地球温暖化に関する知識の普及と地球温暖化防止活動を進める「地球温暖化防止活動推進員」を募集しています。

1 地球温暖化防止活動推進員の活動内容

地方公共団体やNPO等からの依頼に応じ、又は自主的に、地球温暖化防止に関する活動を行います。

【活動例】

- ・ 出前講座「ストップ温暖化教室」の講師
- ・ 市町村環境イベント等でのブーススタッフ
- ・ 緑のカーテンの育て方講習の講師
- ・ 地球温暖化に関する研修や説明会への参加

2 委嘱期間

2025年2月1日から3年間

3 応募資格（以下の事項を全て満たすこと）

- ・ 満18歳以上（2025年2月1日時点）で、県内に在住もしくは在勤、在学していること。

- ・ 地球温暖化防止に熱意と見識を有し、地球温暖化問題に関して指導及び助言ができること。
- ・ 暴力団員及びその関係者でないこと。

4 応募方法

Web ページから「愛知県地球温暖化防止活動推進員応募申込書」及び「個人情報提供同意書」をダウンロードし、県環境局地球温暖化対策課あてメール又は郵送で提出してください。

5 応募受付期間

2025年1月7日（火）まで【必着】

詳細は、Web ページをご覧ください。
(<https://www.pref.aichi.jp/press-release/suishinin-bosyu2025.html>)



愛知県地球温暖化防止活動推進員

検索

地球温暖化対策課 調整・企画グループ
電話 052-954-6213（ダイヤルイン）

「夏休み！おうちでエコアップ大作戦」の結果発表

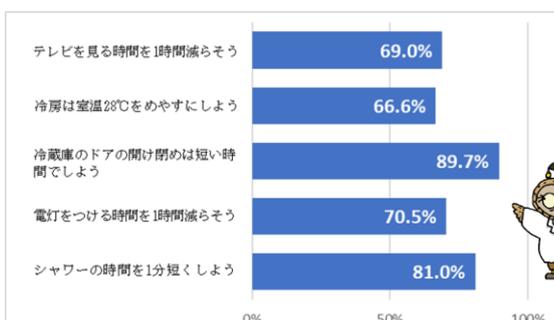


愛知県では、地球温暖化防止に向けた「賢い選択（クールチョイス）」を促す「あいち COOL CHOICE」県民運動の一環として、夏休み期間中に、小学生とその家族が家庭で地球温暖化防止に向けたエコアップ行動に7日間取り組む「夏休み！おうちでエコアップ大作戦」を実施しました。

- 参加数：5,147 家族
- 参加小学校数：56 校
- 各取組の達成率

スギ 786 本相当※の CO₂ が削減できたよ！

※5,147 家族が7日間で減らした合計量の推計（11,005kg-CO₂で試算）、スギが1年間で吸収する CO₂ 吸収量を 14kg-CO₂ として換算



参加した小学生からは、「日常生活の中で CO₂ を減らす工夫が大切なことが分かった」「家族で協力できて楽しかった」など、楽しみながら取り組めたとの感想を多くいただきました。また、一緒に取り組んだご家族からも、「子供がエコアップに取り組むことで、家庭の環境意識が高まった」といった声をいただきました。

○ 優秀校

児童の参加率の高かった小学校を、学校の規模（児童総数）別に優秀校として表彰します。

かまもり 神守小学校(津島市)、にしゅうら 西浦小学校(蒲郡市)、にわの 庭野小学校(新城市)、いちえ 市江小学校(愛西市)、にしびわじま 西枇杷島小学校(清須市)

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/ondanka/ecoup24-result.html>)



地球温暖化対策課 調整・企画グループ
電話 052-954-6213（ダイヤルイン）

「第11回三河湾大感謝祭」を開催しました



愛知県では、「三河湾環境再生プロジェクト」の一環として、多くの皆さんに三河湾への関心を持っていただくため、2014年度から「三河湾大感謝祭」を開催しています。

第11回となる今年度は、10月6日（日）に蒲郡市の西浦温泉パームビーチで開催しました。

当日は、会場の広い砂浜を活かしたビーチバレー体験や三河湾生きものタッチプール、水中ドローンを使って海中を観察する水中ドローン操作体験会など様々な体験型コンテンツが開催されました。



水中ドローン操作体験会

会場のステージでは、さかな芸人ハットリと、ツケマイ 23号による三河湾環境トークショーが開催され、笑いを交えながら三河湾や蒲郡市の様々な話題で盛り上がり、来場者が三河湾への関心を高める良い機会となりました。また、知事と蒲郡市長が、キッズダンスクラブ、さかな芸人ハットリとともに、三河湾環境再生に向けた機運を高める「ガンバローコール」を行いました。



ガンバローコール

さらに、三河湾産アサリのつかみ取りと、地元の魚や野菜を赤みそで煮込んだ西浦温泉名物「家康鍋」の試食ブースには多くの人が訪れ、三河湾の恵みについて考える機会となりました。



家康鍋の試食

三河湾環境再生パートナーシップ・クラブ会員を始め 23 団体のブースでは、三河湾の生きものや海ごみ、観光などをテーマに出展され、愛知県環境局のブースでは、海草アマモの種を海底にまくため、紙粘土に埋め込む工作体験を行いました。参加者は普段目にする事の少ないアマモやブルーカーボンの重要性の解説を聞きながら作業を行いました。



アマモの種まき粘土作成

当日は、大変多くの皆さんにご来場いただき、楽しみながら三河湾の魅力に触れ、考えていただく一日となりました。

三河湾環境再生プロジェクトについては、Web ページをご覧ください。

(<https://kankyojoho.pref.aichi.jp/mikawawanpj/>)



水大気環境課生活環境地盤対策室
三河湾環境再生グループ
電話 052-954-6220 (ダイヤルイン)

「アクション油ヶ淵 2024」を開催しました



「油ヶ淵」は、愛知県内唯一の天然湖沼です。油ヶ淵への関心を深め、水質浄化に向けた気運を盛り上げるため、油ヶ淵水質浄化促進協議会*の主催で、毎年度、体験型イベント「アクション油ヶ淵」を開催しています。

*油ヶ淵の水質浄化を目的として1993年設置。県と油ヶ淵周辺4市（碧南市、安城市、西尾市及び高浜市）で構成

今年度は、10月26日（土）に油ヶ淵水辺公園自然ふれあい生態園（安城市東端町）で開催しました。

講座では、野鳥の観察会を行い、油ヶ淵に生息するカモやサギなどの観察を行い、野鳥や生態系の重要性について学んでいただきました。



野鳥の観察会

また、各種ブースで行われた、水質調査や工作などを体験してスタンプを集めた方々に、生きたうなぎが当たる千本くじを引いていただきました。当日は天候にも恵まれ、約800名の方にご来場いただき、楽しみながら油ヶ淵の生きものや環境への関心を深めていただくことができました。



千本くじ

水大気環境課 生活環境地盤対策室
三河湾環境再生グループ
電話 052-954-6220（ダイヤルイン）

「Let's エコアクション in AICHI」を開催しました



愛知県では、地球にやさしい身近な環境配慮行動「エコアクション」の輪を広げていくため、2014年度から「Let's エコアクション in AICHI」を開催しています。今年度は「食品ロス削減イベント&ごみゼロ社会推進あいち県民大会」と同時開催で、「エコアクションランドで遊ぼう!!」をテーマに、11月2日（土）に鶴舞公園（名古屋市昭和区）で開催しました。

ステージイベントでは、体操インストラクターのこばやし小林よしひささんによるトークショー&ステージや「あいちエコアクション広報部」の地元アイドルグループ「オーエスOS☆U」のライブを楽しんでいただくとともに、高校生が地域の環境を調べて環境教材を作る「あいちの未来クリエイト



小林よしひささん

部」の活動報告、知事やステージ出演者、観客の皆さんが「レッツ・エコアクション！」の掛け声に合わせて拳をかかげる「あいちエコアクション宣言」などを行いました。

また、環境保全に取り組む企業・団体等の協力により、会場内には様々なブースが出展され、LEDランプ作りなど環境を題材とした工作やゲームを楽しむ親子の姿が見られました。 LEDランプ作り



当日は雨の中での開催となりましたが、多くの方にご来場いただき、楽しみながらエコアクションやSDGsについて知っていただくことができました。

環境活動推進課 環境学習グループ
電話 052-954-6208（ダイヤルイン）

「食品ロス削減イベント & ごみゼロ社会推進あいち県民大会」を開催しました



食品ロス（本来食べられるにもかかわらず捨てられてしまう食品）の問題を県民や食品関連事業者の皆さんに知って、考えていただくとともに、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の普及を進めるため、「食品ロス削減イベント & ごみゼロ社会推進あいち県民大会」*を11月2日（土）に名古屋市昭和区の鶴舞公園で開催しました。イベントは「Let's エコアクション in AICHI」と同時開催し、約3,200名の方にご参加いただきました。

*「ごみゼロ社会推進あいち県民大会」

主催：ごみゼロ社会推進あいち県民会議（事業者団体、消費者団体、県内市町村等 112 団体で構成）

【食品ロス削減イベント】

タレント・アーティストの松井珠理奈さんによる「食品ロス削減トークステージ」では、松井さんと食品ロスについて学びながら、日頃の買い物や料理で気を付けていることについてお話しいただきました。

また、食品ロス削減プラットフォームを運営する（株）ロスゼロ代表の文美月さんから、国内外の食品ロスの現状についてご講演いただきました。



松井珠理奈さん トークショー



文美月さん 講演会

【ごみゼロ社会推進あいち県民大会】

ごみゼロ社会推進あいち県民大会では、「レジ袋削減取組店」に登録している県内の227店舗のうち

レジ袋削減に顕著な実績を納めた9店舗に対し、知事から表彰状が授与されました。



表彰式

また、アイドルグループのBOYS AND MENによる「パフォーマンスステージ & ごみゼロ社会推進トークショー」では、BOYS AND MENの皆さんから、ごみを減らすために自分たちができる取組についてお話しいただきました。



BOYS AND MEN ステージ & トークショー

このほか、会場内の各ブースでは、食品ロスをゲームや動画で学ぶ環境学習プログラムの体験、あいち食品ロス削減パートナーである名城食品（株）や（株）折兼ホールディングスの取組紹介、プラスチックごみや食品ロス削減の取組を学ぶことのできる体験や抽選会を行いました。

さらに、家庭などで余った食品を持ち寄るフードドライブには、54点計13.7kgの食品が集まり、フードバンクに寄付しました。ご協力ありがとうございました。

「食品ロス削減イベント & ごみゼロ社会推進あいち県民大会」の詳細はWebページをご覧ください。
(<https://kankyojoho.pref.aichi.jp/foodloss/>)



資源循環推進課 一般廃棄物グループ
電話 052-954-6234(ダイヤルイン)

生物多様性に関する優れた取組をしている企業を 認証しました



愛知県では、企業による生物多様性保全の取組を促進するとともに、優良な取組の普及を図ることを目的に、生物多様性に関する優れた取組を実践している企業を認証する「あいち生物多様性企業認証制度」を2022年度から実施しています。

今年度は4月から7月にかけて申請企業を募集しました。学識者等による審査会を経て、優良認証企業7社、認証企業7社を選定し、11月13日、県本庁舎において認証式を行い、県産木材を利用した認証書を授与しました。

生物多様性保全については、2022年12月の生物多様性条約第15回締約国会議(COP15)において採択された世界目標の中で、自然の損失を食い止めてプラスに転じる「ネイチャーポジティブ」が掲げられるなど、生物多様性保全は気候変動と並ぶ喫緊の課題であると認識されています。そのため、生物多様性保全に向けては、行政だけでなく多様な主体による取組が必要であり、その中でも、企業による取組が大変重要となります。県では引き続き、本認証制度を通じて、企業による生物多様性保全の取組を促進していきます。



認証式の様子（記念撮影時）

あいち生物多様性企業認証

検索

認証の区分と認証企業一覧（五十音順） 14社

優良認証 (7社)	
愛三工業(株)	大府市
愛知製鋼(株)	東海市
大日本印刷(株)	名古屋市守山区
中部電力(株)	名古屋市東区
(株)東海理化	丹羽郡大口町
トヨタ紡織(株)	刈谷市
(株)豊造園	名古屋市名東区
認証 (7社)	
(株)愛知銀行	名古屋市中区
愛日緑化造園(株)	瀬戸市
コニックス(株)	名古屋市中村区
日本郵船(株)名古屋支店	名古屋市中区
武蔵精密工業(株)	豊橋市
ライオン(株)名古屋オフィス	名古屋市中区
(有)ライフコーポレーション	半田市



あいち生物多様性
優良認証企業



あいち生物多様性
認証企業

認証企業マーク

【マークの趣旨】

いのち輝く青い地球を、両手で優しく包み込む様を描いたマークです。両手に見立てた2つの図形は動植物など生命をイメージしています。手と地球の間に「aichi」の頭文字「a」を表し、愛知の取組がグローバルにつながっていることを表現しています。グリーンからブルーへのグラデーションは、多様な生態系を育む水、緑、空を表すとともに、生物多様性を守り育む意識が未来へ伸びやかに育っていく願いを込めています。

<制度概要(URL)>

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/shizen/biodiversity-certification.html>)



〔自然環境課 生物多様性保全グループ
電話 052-954-6475 (ダイヤルイン)〕

生物多様性条約第16回締約国会議(COP16)に参加しました



2024年10月21日(月)から11月1日(金)までコロンビア共和国カリで開催された「生物多様性条約第16回締約国会議(COP16)」及び公式併催イベント「第8回国際自治体会議」等に牧野副知事及び環境局職員が参加しました。

また、愛知県が、生物多様性保全に先進的に取り組む世界の州・県レベルの広域自治体と立ち上げたグループ「GoLS」のメンバーと対面会議を実施するとともに、地方自治体を含む多様な主体の連携の重要性や愛知県の取組等を COP16 参加者に対しアピールする事例発表(サイドイベント)を開催しました。

1 生物多様性条約第16回締約国会議(COP16)

2022年12月の「昆明・モントリオール生物多様性枠組」(GBF)の採択後初となる本会議では、遺伝資源のデジタル配列情報(DSI)の使用に係る利益配分に関する多国間メカニズムの大枠や、先住民及び地域社会の参画に関する補助機関の設置が決定されました。

2 第8回国際自治体会議

生物多様性条約の締約国政府に対して地方自治体の取組促進や支援要請の声を表明するために、COPの開催に合わせて実施されるサブナショナル政府(県・州レベルの広域自治体)及び都市による会議です。8回目となる今回のテーマは、「パートナーシップ」「進捗」「調和」の3つで、それぞれのパートでパネルディスカッションが実施されました。「調和」のセッションにおいて、牧野副知事が愛知県の生物多様性の取組のほか、愛知万博やトヨタテストコースなど大規模な開発事業と生物多様性のかかわり及びその対策等、「自然との調和(Peace with Nature)」について発言しました。



牧野副知事のスピーチの様子

3 海外の自治体等の要人との会談

COP16開催県であるバジェ・デル・カウカ県のディリアン・フランシスカ・トロ知事を表敬訪問し、GoLSへの参画をお願いしたところ快諾されました。

このほか、GoLSメンバーの州の環境大臣等と会談し、互いの生物多様性の取組について意見交換しました。



牧野副知事とトロ知事

4 GoLS会議、GoLS主催のサイドイベントの開催

GoLS会議は、年3回程度オンラインで実施していますが、COPの機会には対面による会議を実施しています。今回は9自治体のうち、5自治体に参加し、COP16にあわせて作成した各自治体の取組成果をまとめた冊子や、今後の活動方針等について情報共有しました。



GoLS会議の様子

また、GoLS主催のサイドイベントを開催し、約70名の観衆のなか、GoLSメンバーによる取組紹介やパネルディスカッションを実施しました。



サイドイベントの様子

5 RegionsWithNatureへの投稿

生物多様性に係る先進事例を集めたデータベースを運用する国際プラットフォーム「RegionsWithNature」に、COP16の開催にあわせて、愛知県として2事例目となる、河川課の取組の「多自然川づくり」を投稿しました。



投稿記事

(<https://regions4.org/csd/nature-oriented-river-work-in-aichi/>)



6 終わりに

今回のCOP16でGoLSの参加団体が2団体増える運びとなりました。引き続き、生物多様性の保全に向けて取り組んでいきます。

〔自然環境課 国際連携・生態系グループ
電話 052-954-6229 (ダイヤルイン)〕

国道23号通行ルール(名古屋南部地域)にご協力をお願いします



【国道23号通行ルール(名古屋南部地域)】

名古屋南部地域の空気環境は、近年徐々に改善が進んでいますが、この地域を貫く国道23号では、交通量が10万台/日を超える箇所や大型車混入率が5割近い箇所もあり、他の道路沿道に比べ大気汚染物質の濃度が高くなっています。

そこで、国土交通省では、名古屋南部大気汚染公害訴訟の和解条項の一つである車線削減の代替策として、従来からの法規制に加え、大型車は中央寄り車線を走行することで沿道の騒音や大気汚染を低減させる「国道23号通行ルール(名古屋南部地域)」

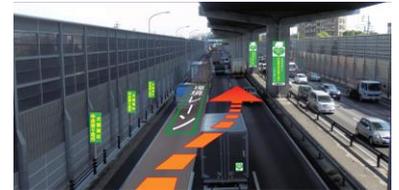
を策定し、関係機関(環境省、愛知県、名古屋市、愛知県警及び(一社)愛知県トラック協会)とともに周知や呼びかけを行っています。

<対象車種> 大型車 [下図の大型車の例参照]

<実施区間> 緑区大高町(名古屋南インター交差点)～海部郡飛島村(梅之郷交差点)までの国道23号・約16kmの区間 [下の地図参照]

<お願い> 実施区間では、大型車は外側車線(環境レーン)を避け、中央寄り車線の走行、小型車は大型車が中央寄り車線を走行しやすいよう、外側車線(環境レーン)の走行にご協力をお願いします。

中央寄り走行をお願いする大型車の例



大型車は環境レーンを避けて走行



「国道23号通行ルール(名古屋南部地域)」の実施区間

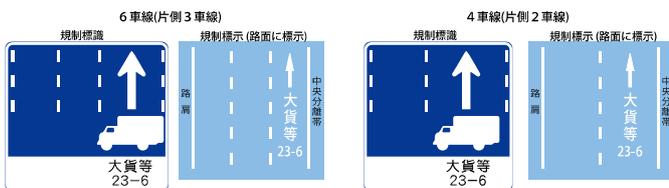
【法の規制を守りましょう】

・道路交通法により、上記の実施区間のうち緑区折戸～港区十一屋間では大型車は夜間(23時～翌朝6時)、最も中央寄りの車線を通行しなくてはなりません。

・道路運送車両の保安基準等に定める、黒煙を多量に発散する整備不良車、不正燃料使用車、過積載車両、許可なし特殊車両は公道を通行できません。

【その他 沿道環境に配慮した走行のお願い】

- ・「ふんわりアクセルでゆっくり発進」などのエコドライブの実施(排出ガスを抑え、燃料も節約できます。)
- ・自動車NOx・PM法車種規制非適合車を使用しない(「貨物自動車等の車種規制非適合車の使用抑制等に関する要綱」に基づき、使用しないようお願いします。)



(規制標識・規制表示)

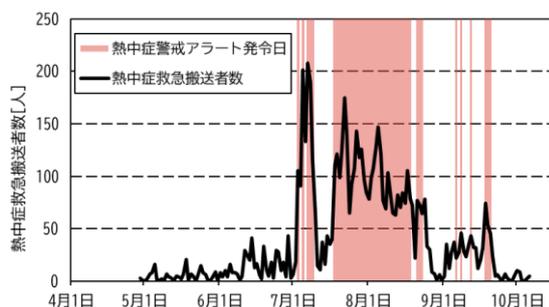
地球温暖化対策課 自動車環境グループ
 電話 052-954-6217 (ダイヤルイン)
 建設局 道路建設課 企画・環境対策グループ
 電話 052-954-6541 (ダイヤルイン)

○ 2024年の気候変動による影響

気候変動が深刻化する現代において、世界各地で局地的な豪雨や極端な高温などの気象災害が多発しています。

スペイン東部では、10月末に記録的な大雨による洪水が発生し、200人以上の死亡が確認されました。世界各地の異常気象について調べている国際的な研究チームは、今回の大雨をもたらした低気圧が勢力を強めた原因として、地球温暖化が影響している可能性があるという見方を示しました。

愛知県でも、8月に台風10号の大雨によって浸水や土砂崩れが発生し、蒲郡市では3人がお亡くなりになるなど、多くの被害が確認されました。また、豪雨だけでなく極端な高温にもみまわれ、熱中症警戒アラート発令日は、過去最多の46日となり、熱中症による救急搬送者数は、6,347人となりました。



愛知県における2024年の
熱中症警戒アラート発令日と熱中症救急搬送者数
(環境省と総務省消防庁のデータを基に作成)

このような状況に対処するためには、気候変動の「緩和」だけでなく気候変動への「適応」も、一層強化する必要があります。

○ 「気候危機対策交流フォーラム」の開催

県では、愛知県地球温暖化防止活動推進センターとの共催で、気候変動の「緩和」と「適応」を融合した地域づくりについて考える「気候危機対策交流フォーラム」を開催します。是非ご参加ください。

1 日時 2025年1月23日(木) 13:30~16:40

2 場所 ウィンクあいち13階1302会議室
(名古屋市中村区名駅4-4-38)

3 内容

基調講演①

「気候変動がもたらす未来の死者数
~季節性の変化に迫る」

東京大学大学院医学系研究科国際保健政策学
教授 橋爪 眞弘 氏

基調講演②

「気候変動に対する環境政策と熱中症対策」
環境省中部地方環境事務所

所長 小森 繁 氏
会場交流トークセッション

「暑熱対策における緩和策と適応策の融合とは」

4 定員 50名(事前申込制)

5 参加費 無料

詳細及び申込はWebページをご覧ください。

(<https://www.kankyosoken.or.jp/>)



環境調査センター 企画情報部
愛知県気候変動適応センター
電話 052-910-5489 (ダイヤルイン)

※掲載のイベントや講習会等は、天候の影響等により、内容を変更又は中止する場合があります。

愛知県環境情報紙「環境かわら版」(第343号)

発行日 2024年12月2日

編集・発行 愛知県環境調査センター 企画情報部

所在地 〒462-0032 名古屋市中村区辻町字流7-6

電話 052-910-5486(ダイヤルイン)

URL <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo-c/0000007029.html>
(今月号とバックナンバーを掲載しています。)



掲載記事は広報紙等へ再掲していただきますようお願いします。